

第4回東日本区大会区実行委員会議事録

2026年3月26日（木）午後8時

顧問	山下 真（十勝）
実行委員長	榎本 博（伊東）
事務局長	金子 正樹（伊東）
会計	中村 義春（十勝）
委員	渡辺 大輔（東京武蔵野多摩）

【ホスト委員会】

清水 弘一事務局長・竹内 聡

概要

- 本会議では、東日本区大会に向けた進捗確認として、主に登録促進、表彰・司会進行、リハーサル運営、予算見直し、晩餐会準備、今後の日程が議論された。
- 特に、登録漏れへの対応、司会者体制の再調整、リハーサル会場の変更、参加者数不足による収支悪化リスクが重要論点となった。

エクセル版登録用紙

- 現在の登録者数は約170名台後半。
 - 採算上は最低でも250名程度、当初目標としては300名が必要との認識が共有された。
 - 4月15日の登録締切が大きな節目であり、それまでの集中的な呼びかけが必要。
 - 「申し込んだつもりだが登録されていない」事例が複数確認された。
 - 別フォームへの入力や、クラブ内確認不足が原因とみられる。
 - 各クラブ会長に現状の登録者一覧を共有し、クラブ内で再確認してもらう方針。
- エクセル版登録申込用紙が完成。
 - 原則はWeb登録。
 - Webが難しい場合はExcel申込書。
 - それも難しい場合はFAX対応。
- エクセル版登録申込書の早期アピールを早期に実施する方向。
 - Excel申込書を添付して会長メーリングリスト・ワイズドットコムで案内を出す。
 - 川上氏からは、会長向けにFAX用紙と現時点の申込者一覧を送る想定。
 - 竹内氏が、クラブ別・登録者別の確認用一覧を作成済み。
 - 関係者へ共有し、登録漏れ確認や促進に活用する。出席・委任状管理

表彰関係を軸に時間設定検討

- 表彰関係は全体時間を圧縮する方針で進行。
- 東日本区アワーの事業主任報告と表彰を合わせて約5分で進める方向。
 - 読み上げは事業主任ではなく、司会側が担う方向で進めたいと理事が方針を示す
 - 壇上での記念撮影は原則避ける方針。
 - 記念撮影を希望するクラブは、記念コンサート前の休憩時間に金屏風前で実施。
 - これにより壇上進行の停滞を防ぐ。
 - 表彰対象の扱いは簡略化する。
 - 基本はスライド表示と入口での表彰リスト配布。
- ただし「東日本区奈良傳賞」「最優秀クラブ賞」など主要賞については、壇上授与の可否を引き続き検討。
 - 「東日本区奈良傳賞賞」は候補者が1名または2名となる見込み。
 - 3月31日の奈良傳賞候補者選考委員会で確定予定。

- 氏名は現時点で非公開。
- ミサワホーム関連の感謝状贈呈と映像上映は 10 分に短縮して組み込む方向。

リハーサル

- 司会者体制の見直し
 - 山口満穂氏はリハーサル参加が難しく、さらに大会当日に大宮へ戻る必要があるため、対応範囲に制約があることが判明。晚餐会まで担当させるのは現実的でないとの見方。学業都合による制約であり、本人責任ではない点も共有された。
 - 代替案として、川上灯氏への依頼が理事側で進んでいるが、晚餐会担当となっていたので複数の案が提案され地元で検討を進めることとした。
 - 晚餐会司会は未確定。
 - 川上氏が兼務する案。
 - 別の候補を探す案。
 - 仙台 YMCA 関係者や外部人材の可能性も検討。
 - 外部のフリーアナウンサー起用は費用面が重い。10 万円規模以上になる可能性があり、予算上厳しい。
- 当初想定していた遊学館でのリハーサルは見直しとなった。
 - メネット関連は前日に本格リハーサルを行わず、横断幕とプロジェクター確認のみでよいことが確認された。
 - その結果、6 月 5 日のリハーサルはビックバンを使用する方針に変更。
 - 視聴覚室を主会場として使用。必要に応じて展示室も予備的に使用。
 - 開始時刻は 2 時半想定で整理。
- リハーサルは 2 グループに分かれて進める方向。
 - 司会・アナウンス系。
 - 表彰・進行確認系。
- 施設側からは、ピアノの配置図と立ち位置の図面が必要との要請。
 - どこに置くかで必要人員や所要時間が変わるため、早急な図面化が必要。
 - 舞台転換、特にピアノの出し入れ時間がプログラム成立の鍵。
 - 「はねこ踊り」の演目中にピアノを出したままでよいかは不可との認識。
 - 緞帳を使って短時間で転換する案が有力。
 - 実際に何分かかるかを踏まえ、コンサート時間にも影響しうる。
 - 演奏者側の意向確認と施設担当者への図面提出が必要。
- リハーサル参加者の移動手段も課題。
 - 荷物量を考えると車両追加が必要な可能性。
 - ハイエースやレンタカー利用案が出た。
- 晚餐会関係
 - 晚餐会の内容はまだ骨格のみで、詳細プログラムは未確定。
 - 確定しているのは、むね氏のコンサートと各種アピール程度。
 - 乾杯担当、紹介順、アピール配置などは今後整理。
 - 東日本区大会・西日本大会の次期開催地アピール、福島関連のアピールなどをどこに入れるか詰める必要がある。
 - スクリーン使用の有無や映像準備も未確定で早めの調整が必要。
 - 晚餐会の台本は必須との認識。
 - 今回の司会者は大会運営経験が十分でない可能性があるため、詳細台本が必要。
 - 十勝大会・宇都宮大会の過去台本をたたき台として活用する。
 - 晚餐会台本の原案は、川上氏側のホスト委員会で準備する方向。
 - 山下氏が十勝大会でのシナリオ案を提供。
 - 渡邊氏が宇都宮大会シナリオの加工対応を支援。導線

予算と収支見直し

- 予算面は想定以上に厳しくなりつつあるとの認識が共有された。
 - 司会関連費用の増加可能性。
 - 招待者の旅費・宿泊費負担の追加。
 - 郵送費や車両費など細かな費用も積み上がっている。
 - 区からの準備金 50 万円は未使用分を返却予定で、自由に使える予備費とはみなせない。
- 現状の収支感覚としては以下の見立て。
 - 250 名では厳しい、もしくはほぼ損益分岐。
 - 245～250 名程度が最低ライン。
 - 300 名でようやく一定の余裕が見込める。
- 月次で決算書を出し、収支を見える化していく必要があるとの意見が出た。
- 参加者増加が最優先課題であり、削減よりまず集客強化に注力する方針。

- 招待者・負担範囲の整理が必要との共通認識が与えられた。
 - 招待者の扱いがまだ整理し切れていない。
 - 現時点で明確なのは能登の柴田氏程度（登録費負担要請）。
 - そのほか、YMCA 関係者、エクスカーション関係者、福島 YMCA 新クラブ準備委員長、大会協力関係者などが候補。
 - ミサワホーム関係者については大会招待ではなく、別枠での参加・負担整理を行う方向。
 - 招待者の旅費・宿泊費を大会予算で持つか、実行委員会側で持つかの基準が未整備。
 - 4 月 20 日のホスト委員会までに整理して提示する方針。

広報・Web 関連

- 4 月 1 日および第 3 回役員会で再度アピールを実施予定。
- ホームページ関連では以下を整備する。
 - 今後の予定の更新
 - 歓迎の言葉の掲載
 - 物品ページの作成
 - トップメニューと中身の不整合修正
- 歓迎の挨拶文は、プログラム兼用の形にする方向。
- 物品ページは写真素材のみの提供で止まっており、説明文を含めたページ化が必要。

組織運営と人員配置

- 運営スタッフ配置も未確定部分が多い。
 - バス案内、受付、各持ち場の担当分けを早急に整理する必要がある。
 - 仙台 4 クラブからのメンバー登録と運営協力を強く求める方針。
- 次回ホスト委員会では、各クラブからの具体的人員を前提に役割分担を進める見込み。

次期大会候補地

- 鈴木伊知郎次期理事は、健康上の理由と勤務先事情により辞退意向。
- そのため、3 月 27 日役員選考委員会で小林隆（熱海グローリー）を軸に検討が進む見込み。
- 次期地域大会候補地については、御殿場市 東山荘での開催意向が共有された。

弁当手配（昼食）

- 予算・手配

- 1人あたり 1,500 円（お茶含む）。余裕予算は設けず、内容充実を優先。
- 手配先はワールドトラベル（加藤）を第一候補に、石巻市内業者も併せて比較提案。
- 運用
 - 配送・配布・ゴミ処理まで一括手配。職員配置も含め運営計画に組み込む。

晩餐会メニュー見直し

- 現状評価と課題
 - 現行提案は量感が不足。若年層向けの揚げ物（唐揚げ・天ぷら）が欠如。
 - 舟盛り（15万円）は高コストの割に満足度が限定的で再考余地あり。
- 方針
 - ボリュームアップ策：海苔巻きコーナー、海苔うどんコーナーの設置（ホテル提供可否・品質維持要件確認）。
 - メニュー別プラン（B/C等）をホテルから再提案依頼。高単価品の比率を下げ、量を確保。
 - 地酒コーナーはテーブル提供に寄せ、専用コーナーの規模は縮小。飲み放題前提の単価構成見直し。
- 試食・精算
 - 試食会（2名分）は大会費用で処理。領収書は写真で提出し、計上を迅速化。

参加登録・コミュニケーション

- 現状
 - 参加 85 名程度（直近で数名増加）。目標に未達で地元（仙台地区等）の申込が少ない。
- 増加施策
 - 通知強化：メール既読率が低いため、葉書・電話・対面での再周知を実施。
 - 登録フォームとホテル予約等の多系統情報を Excel で照合（竹内・加藤・渡邊の情報集約）。
 - 3月1日早期案内と、研修会等での徹底周知。
- データ整備
 - 渡邊が Excel 入力を担当。清水からのデータ提供後、突合・修正を進める。

対応事項

- @ 榎本氏が会長メーリングリスト向けに、4月15日締切の案内と Excel 申込書付きの呼びかけ文を送る。
- @ 川上氏が各クラブ会長向けに、申込者一覧と FAX 用紙を送付し、登録漏れ確認を依頼する。
- @ 竹内氏が登録者一覧を関係者へ共有し、クラブ別確認に使える状態にする。
- @ 山下氏が表彰進行の短縮方針を反映し、シナリオを受賞者名入りで見直す。
- @ 山下氏が表彰会議の日程を早急に調整し、主要表彰の扱いを確定する。
- @ 清水氏が司会者候補について川上氏と相談し、山口氏の代替体制を詰める。
- @ 関係者が晩餐会司会の候補者を継続して探索し、費用条件も含めて整理する。
- @ 関係者が演奏者側へピアノ配置・立ち位置の確認を行い、図面化して施設担当の佐々木氏へ渡す。
- @ 山下氏または関係者が、ピアノ転換を踏まえたタイムライン再確認を行う。
- @ 清水氏が遊学館の手配を取り下げ、BIGBANG の視聴覚室・展示室利用前提で調整する。
- @ 関係者が 6月5日の移動車両計画を確定する。
- @ 山下氏が晩餐会台本の参考資料として十勝大会・宇都宮大会資料を川上氏と清水氏へ提供する。
- @ 渡邊氏が宇都宮大会の台本資料を加工し、流用しやすい形に整える。

- @ 川上氏側ホスト委員会が晩餐会プログラムと台本原案を作成する。
- @ 山下氏が招待者の範囲と費用負担区分を整理し、4月20日のホスト委員会までに提示する。
- @ 中村氏・竹内氏・山下氏が月次収支を見える化し、予算見通しを更新する。
- @ 山下氏がホームページの歓迎文、物品ページ、メニュー不整合を整備する。
- @ 各クラブが運営スタッフ候補者を早急に提示し、役割分担に備える。

スケジュールと重要な日付

早期	登録促進アピール実施予定。
4月11日	第3回役員会で現状共有と危機感の伝達。
4月12日	東西日本区理事連絡会議で協力要請を実施。
4月15日	第1次登録期日
4月20日	ホスト委員会開催。
4月21日	次回実行委員会開催予定。

第4回東日本区大会区実行委員会

2026年3月26日（火）午後8時
Zoom 会議

顧問	山下 真(十勝)
実行委員長	榎本 博(伊東)
事務局長	金子正樹(伊東)
会計	中村義春(十勝)
委員	渡辺大輔(東京武蔵野多摩)
	山田敏明(十勝)

【ホスト委員会】

川上直哉実行委員長・清水弘一事務局長・竹内聰会計

1. エクセル版登録用紙

- ① 配信
- ② ホームページ掲載
- ③ 登録したつもり問題

2. 表彰関係を軸に時間設定検討

(別添：賞状関係)

- ・奈良傳賞以外は壇上での記念撮影を遠慮願う
 - ・希望するクラブの記念撮影は記念コンサート前の休憩時間に金屏風前で行う。
 - ・各賞の発表は山口満穂さんにやってもらう。
- ・ユース発表（従来はSDGs ユースアクションの発表）に替えて北東ミサワホーム感謝状贈呈を組み込む（10分間）

3. リハーサル

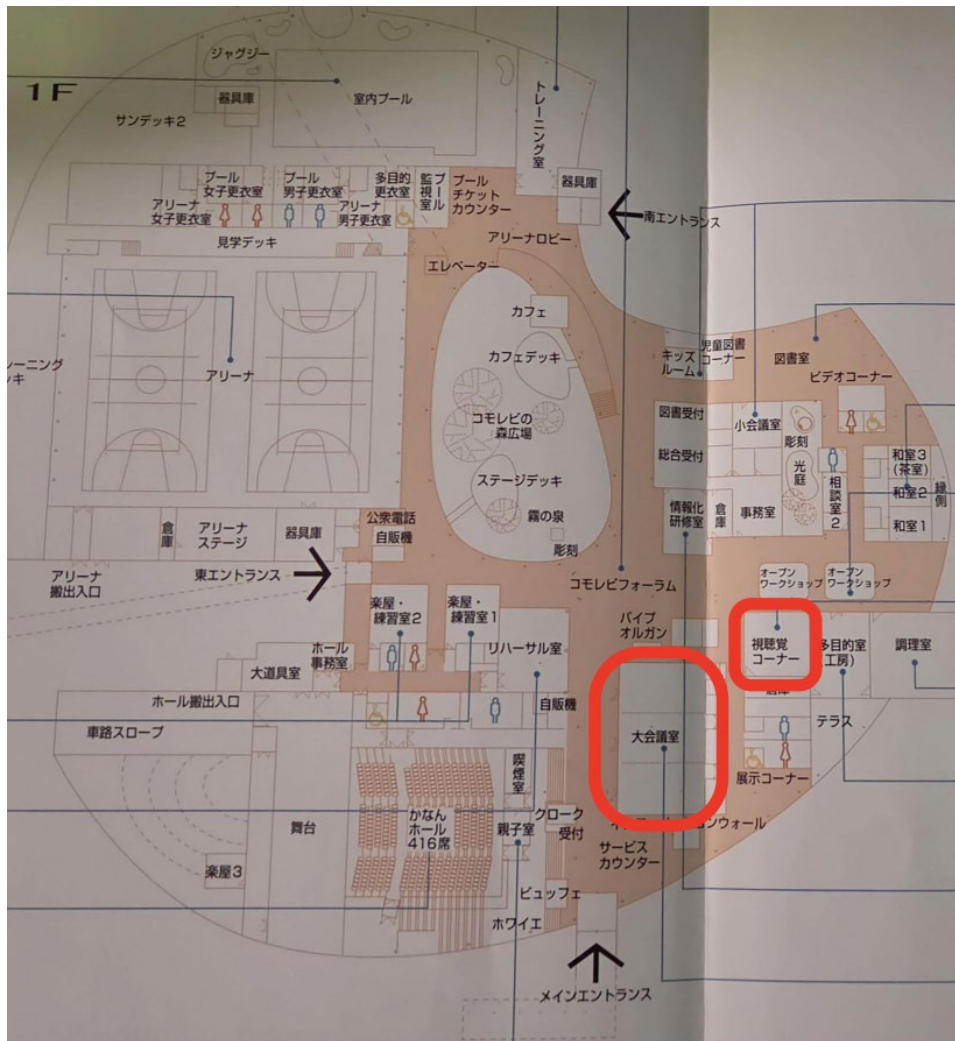
集合 6月5日（金）午後1時半の汽車で到着するように指示済み

場所 遊学館

大会議室と視聴覚コーナーの二つの部屋の申し込み手続きをしまいりました。その理由としては以下の通りです。

- ① 遊楽館のリハーサル室はプロジェクターなどの使用が不可で区アワーのリハーサル用としては使えない。

- ② 大会議室はスピーカーの出るところが1か所で2つのグループが同時に使用することができない。一グループが使用するなら問題ない。スクリーンも設置されており、プロジェクターの持ち込み使用ができる。マイク3本の使用ができる。
- ③ 大会議室と廊下を挟んで視聴覚コーナー（34席）があり、大会議室と同様の設備もそろっており、もう一つのグループのリハーサルとして使用できる。



1 グループ
 (大会アナウンス)
 山口 満穂
 金子 正樹
 (スライド関係)
 渡辺 大輔

第2グループ
 (事業主任報告・表彰)

CS・Yサ	深澤勇弘
EMC	大澤和子
国際交流	山本剛史郎
ユース	並木 真
理事	山下 真
会計	中村義春
アナウンス	榎本 博

4. 広報

- ① 4月1日に4月15日のアピールをワイズドットコムでおこなう。
- ② 第3回役員会（4月11日）で再度アピール
- ③ 4月15日 登録締め切り（一次）
- ④ ホームページ
（今後の予定）
 - ・ 歓迎の言葉
 - ・ 能登物品のページ
 - ・ トップのメニューリストの不整合解消

5. 予算関係

必要スタッフの交通費・宿泊代が追加されてきている
（今後の検討課題）

6. 次々期大会の候補地について

今後の日程

4月11日（土）	第3回役員会
4月12日（日）	東西日本区理事連絡会議
4月15日（水）	登録締め切り（一次）
4月20日（月）	ホスト委員会

時間拾い出しリスト

9:00 リハーサル
10:00 代議員会・ユースの集い・担当主事会・メネットアワー
11:45 各会議等終了予定

12:30 好文館高校吹奏楽演奏(20)
12:50 バナーセレモニー(10)
13:00 開会式 アナウンス自己紹介と理事呼び出し
13:01 開会宣言・点鐘(1)
13:02 ワイズソング(5)
13:07 開会祈祷(3)
13:10 歓迎挨拶
川上直哉実行委員長(4)
13:14 石巻市長(4)
13:18 同盟総主事(4)
13:22 田上エリア会長(4)
13:26 西日本区理事(4)
13:35 メモリアルアワー(15)
13:50 開会式終了
設営 (10)

東日本区アワー I

14:00 開会
14:01 開会あいさつ(2)
14:03 年次代議員会報告(2)
14:05 震災振り返りの時・東北ミサワホーム表彰 (10)
14:15 締めアナウンス・壇上整理(5)

東日本区アワー II

14:20 開会(1)
14:21 事業委員会報告・表彰 CS・Yサ事業員会(5)
14:26 EMC(5)
14:31 国際交流(5)
14:36 ユース(5)
14:41 グランドスラム賞(3)
14:44 理事表彰 (3)
14:47 奈良傳賞 (10)
14:57 締めアナウンス (3) 壇上整理

DBC 締結式

15:00 締結式 (5)

就任式

15:05 理事就任式 (10)

15:22 役員紹介(2)

15:23 バナー引渡し

15:26 理事所信表明(1)

15:28 司会者(2)

15:30 締めのアナウンス

記念コンサート

15:55 はねこ踊り(10)

16:05 趣旨説明・開会あいさつ (5)

16:10 白田・岸コンサート (66)

17:10

閉会式

17:15 開会(1)

17:18 ホスト委員長お礼あいさつ(2)

17:20 YMCA 感謝状(2)

17:23 田口直前総主事への感謝盾 (2)

17:25 YMCA の歌(4)

17:29 閉会点鐘(1)

17:30 閉会(1)

表彰方法変更への検討素案

例年、区大会表彰は3月下旬にキャビネットを中心に表彰に関係する事業主任を交えて選考基準と選考を検討している。

基本的には、各事業主任が担当する委員会で原案を検討し表彰会議に上程することになっている。作業の省力化等を考慮し合理的な合同開催もあり。

1. 表彰の種類（前年度）

(1) 理事表彰・・・奈良傳賞、最優秀クラブ賞、優秀クラブ賞、理事特別賞、ブリテン優秀賞、

(2) 各事業表彰・・・事業主任を中心に委員会にて検討願いたい

①CS・Y サービス事業・地域奉仕活動特別賞、YMCA サービス特別賞
環境プログラム特別賞・献金貢献賞（一人当たり）
達成賞（CS、ASF、FF）

②会員増強事業・・・ 新入会員獲得優秀賞・努力賞（クラブ）
新入会員獲得優秀個人賞
出席率最優秀賞・優秀賞、ノンドロップ賞
会員15名以上達成賞

③国際・交流事業・・・ 献金貢献賞（一人当たり）
達成賞（BF、TOF、RBM、YES、IBC・DBC 締結）

④ユース事業・・・ YIA 優秀賞・推進賞、ユース活動支援貢献賞・達成賞

(3) 東日本区会計表彰

グランドスラム賞（全献金達成クラブ賞）

2. 表彰会議の日程

3月下旬・・・表彰会議関係者の会議（キャビネット、各事業主任、事務所）⇒表彰内容の検討と確認

4月中旬・・・各事業主任の表彰基準と表彰内容・表彰先の選出

4月下旬・・・表彰会議の開催⇒表彰項目と表彰先の決定⇒区大会の表彰登壇者の決定

会員増強表彰は前年5月～当年4月までの1年間実績のため5月初旬

3. 献金表彰については、従来からの表彰方法を変更したいので検討をお願いしたい。

⇒表彰状だけで 300 枚以上の個別印刷を事務所でしている。・・・労力が大変、紙の無駄
表彰状が 1 クラブで 5 枚から 10 枚以上もある。・・・クラブで保管しているのか疑問
環境問題も考慮 (SDGs もったいない)

・・・クラブからの意見・・・ (事務所の意見も考慮)

①そんなにいらぬとの意見 (もったいない)

②クラブで保管するのが大変 (保管しているか疑問)

③表彰状は 1 位～3 位のみで良いのでは、表彰一覧表があるので代用できる、紙の無駄

達成賞は印刷しない

④表彰基準が不公平・・・献金一項目のみに高額献金し他の献金項目は無しで 1 位獲得
(献金項目の 50%以上の献金が条件では?)

全献金目標達成が一番価値があるのでは